



<編集・発行>城南地区地域づくり協議会 <事務局>前橋市城南支所 ☎027-268-2111

きれいなまちづくりは、日ごろのごみ出しのちょっとひと手間から

群馬県の家から出る1人1日あたりのごみ排出量は全国ワースト1！
リサイクル率も全国平均以下・・・

私たちが普段出している「可燃ごみ」の中には、資源として再利用できるものがたくさん含まれていますが、本県のリサイクル率は13.8%と全国平均の19.5%に比べて低い状況です。

可燃ごみを「燃やすしかないごみ」と意識して、プラ容器類やペットボトル、紙類、衣類を分別して決められた日に出せば、ごみ集積所を整える方の負担が減り、ごみ焼却費の節約もでき、温室効果ガスの減少で地球温暖化防止につながるなど、私たちの暮らしにとって良い効果！

最近は分別した資源物を無償で回収するスーパー等も増えていて、曜日に関係なく持ち込めて便利なおうえ、中には買い物ポイントを付与するお店もあってとってもお得！

分別ルールや決められた場所・曜日・時間にごみと資源物を出して、まちのごみ集積所を清潔に維持きれいで緑豊かな城南地区を保つため、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

正しく分けて きれいに 出して まちをきれいに！

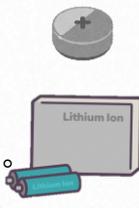
電池は分けて 決められた場所に



乾電池・ボタン電池
⇒透明袋に入れて
「資源の日」に黄色コ
ンテナ(危険・有害ご
み)へ。



リチウムイオン電池
⇒電池のみは「家電量
販店」の店頭回収箱へ。
機器類ごと出すときは
黄色コンテナへ。



生ごみは水切りを 忘れずに！



生ごみの水分が減れば・・・
重さが減る ⇒ 腐敗スピードが
落ちる ⇒においが弱くなる⇒
動物がごみをあさるリスクが下
がる⇒ お掃除が楽に！
生ごみ処理機やコンポストを
使って、ごみに出さないことも
おススメです。
また食品ロス削減も
こころがけましょう。



きちんと分別 資源リサイクル



紙類・衣類
⇒「紙・衣類の日」
「有価物集団回収」
「リサイクル庫(城南
支所・東部共同調理場
など)」へ。
ペットボトル
⇒キャップとラベルを
取ってつぶさず「資源
の日」かスーパー等へ。



リチウムイオン電池（小型充電式電池）の火災に注意！



全国的にごみ収集車の火災事故が多発しており、前橋市でも令和6年に1件発生しました。原因は、カセット式ガスボンベやスプレー缶などに入っている可燃性ガス、リチウムイオン電池によるもので、いずれも不燃ごみ収集中に発生しています。**不燃ごみと一緒に出すと非常に危険ですので、絶対に混ぜないでください。30cm以下の電池使用製品は「資源の日」に黄色コンテナへ出してください！**



「資源・ごみ分別アプリ」
「さんあくる」が便利！

iPhone



スマートフォン
モバイルバッテリー



ハンディファン



電子タバコ



電動歯ブラシ



電気シェーバー

おさかな天国のテーマソングともに、
あなたのまちを訪れます。
ぜひお出かけください♪

安全・安心対策部会 ～住み慣れた地域で暮らせるお手伝い



みなさん、こんにちは！ 移動販売車の「フレッシュー便」です。
城南地区を毎週月・水・金曜日の週3回、巡回しています。
おかげさまで平成26年3月の開始以来、13年目をむかえることができました。
この間、ご利用のお客さまも約6万人を数えます。本当にありがとうございました。

【令和7年度の「フレッシュー便」の活動】

- 🚚 7月、下大屋町の巡回場所が移動。毎週月曜日／13：45～14：05
元の場所から約300m東、萩原様宅のお庭の一部をご厚意でお借りしています。
- 🚚 10月、今井町の「城址広場」が「蟻川歯科医院」へ移動。
広い駐車場の一角をご厚意でお借りしています。毎週水曜日／14：25～14：50
- 🚚 令和7年度の利用者数（2月末現在）
販売か所全体で対前年度比 100%（4,042人）※ほぼ前年並みです。
- 🚚 販売場所別利用者数ベスト5（高齢者施設を除く）
 - ① 鶴が谷町大公園（357人）
 - ② 東大室町公民館（286人）
 - ③ 西大室町千吉良邸（264人）
 - ④ 今井町今井神社（236人）
 - ⑤ 二之宮町上集荷所（221人）

🚚 お客さまの声

「遠くのスーパーに行かなくても買い物ができるので助かります。」「その日に品物がないときは御用聞きしていただけるので助かります」「買い物のついでに近所の方とのちょっとした交流ができることが何ととっても楽しいです。」

🚚 フレッシュー便担当者の声

週3日の巡回によりお客様とのコミュニケーションも図れ、見守りの活動へとつながります。これからも常にお客さまの声に耳を傾け、よりたくさんのお客様にご利用いただけますようサービス向上に努めます。

文化財部会 ～ロマンの歴史にふれてみませんか



● 講演会「大室古墳群・中二子古墳を探る—未発掘の石室をめぐる—」

令和7年3月16日(土)城南支所ホールで、大室古墳群の中二子古墳（二重の堀を持つ古墳としては北関東最大級）の石室開口の可能性について、日本考古学協会会員で大室古墳語り部顧問の前原豊先生に語っていただきました。

明治時代、中二子古墳は前二子、後二子古墳と同様に石室の発掘調査が行われました。しかし中二子古墳の石室だけは発見できませんでした。

平成の時代には機械によるレーダー探査が実施されましたが、中二子古墳の石室はやはり特定できませんでした。

中二子古墳は大室古墳群で最大規模なので、石室には国宝級の文化財が眠っているかもしれません。今後更なる調査が行われるものと期待しています。

前原先生は、今後10年以内に中二子古墳の石室の発掘調査が実施される可能性が高いとお話されました。100名近い参加者がありましたが、私も含めた高齢者は今後最低10年は長生きしたいと感じられるような講演会でした。

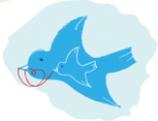


● 荒子町をくまなく巡る文化財めぐり

12月7日(日)の北風もなく良く晴れた日、今回も30名近い方が地図と解説資料を片手に、荒子町の文化財めぐりを楽しみました。

午前9時に荒子町集落センターをスタートし、荒子杉山古墳、荒子塘碑、薬師堂、荒砥富士山古墳、荒子砦跡などを巡り、各文化財の前で解説に耳を傾けながらお昼前にスタート地点へ戻りました。健康づくりを兼ねた文化財めぐりを今後も実施する予定です。





地域福祉部会 ～支えあいのまちづくりと世代間交流にとりくんでいます



各町サロン担い手情報交換会

城南地区の町社協発足に伴い、8月28日(金)に各町のサロン担い手情報交換会を城南支所ホールで開催しました。町社協の開始や運営に対し、各町の担い手が悩んでいることを耳にし、地域福祉部会で音頭をとり開催したものです。現在では城南地区内の数多くの町で町社協の活動が始まっています。

第12回 私たちの身近にある自然豊かな子ども絵画コンクール

城南地区内の小学生を対象に、城南地区内の自然を描いた「私たちの身近にある自然豊かな子ども絵画コンクール」を実施しました。

審査会および表彰式は城南支所ホールにて行われ、今年は109名の応募者から低学年・中学年・高学年の3部門に分けて審査し、最優秀賞ほか入賞作品を選びました。表彰式後は城南支所ロビーで入賞作品を展示しました。

<スケジュール> 6月…小学校に募集のお願い 9月上旬…応募終了

9月末…審査 11月…表彰式、展示

おじいちゃんの知恵に学ぶ 三世代交流会「ミニ門松づくり」

12月20日(土)、城南地区のご家庭から提供いただいた材料を使って、「ミニ門松づくり」を城南支所ホールで開催しました。当日は、老人クラブの役員のほか、包括支援センター上毛の里やすみれ荘、前橋市社会福祉協議会など多くの方々の協力をいただき、盛大に開催することができました。

おばちゃんの知恵に学ぶ 三世代交流会「食の交流会」

2月23日(月)の天皇誕生日、食生活改善推進員さんのご協力を得て、小さな子どもから大人まで三世代が参加した「食の交流会」が城南支所で開催されました。今回は群馬の粉食文化である「お切り込みうどん・手作りこんにゃく・いちご大福」に和気あいあいと挑戦。全員の交流による食事会でおしくいただきました。



地域内交通運営委員会 ～あおぞら号に乗って出かけよう

令和2年2月から運行を開始した地域内交通「城南あおぞら号」。

運行後6年を経過し、地域の皆さまにはある程度認知されてきたものと思います。しかし、継続的に運行していくには地域の皆さまのたくさんの利用が不可欠です。

デマンドバスである地域内交通は、公共交通機関のため法的な制約を受けています。交通弱者対策として、どのような事業を展開していけばいいのか約8年前から議論を重ね、市当局とも何度か交渉を行いました。ようやく結論が出て、道路運送法に基づく一般乗合旅客自動車運送事業としての許認可を得て運行開始しました。

当初は、交通弱者といわれる高齢者や年少者、身体障がい者を対象に考えていましたが、たくさんのお客様にご利用いただくためにはどうしたらいいのだろうと、対象者を広げる意見も出てくるようになりました。

乗降場所は病院(医院)、スーパーマーケット、駅、公民館等が多く利用されていて、当初の目論見どおりの利用状況です。

城南地区は農村が主体の市街化調整区域で、とても自然に恵まれた地域です。各家庭には人数以上の自動車があって、移動手段も自動車がメインなので、かなりの高齢になっても運転免許証の返納は躊躇しているようです。将来を見越して、今から地域内交通を予行練習の形で使ってくれたらいいなと思います。

令和7年4月には東大室町の「しろがね学園前」のバス停を新設しました。令和8年4月は3か所の新設や移設の要望が出ており、現在審査しています。

スーパーマーケットやコンビニに行くと、徒歩で行き返りしている高齢者を見かけますが、この人たちの将来を思い描き、身近な地域でのコミュニケーションの大切さを感じます。これからの地域内交通の在り方を考察していく必要性を強く認識しています。

乗り方学習会の様子



バス停は2種類

←ポール型
↓掲示板型



おしらせ

城南地区地域づくり協議会の活動は、前橋市ホームページに掲載中です。

スマホで二次元コードを読み取り、どうぞご覧ください。



城南地区地域づくり協議会では、地域の自然環境や文化財・伝統芸能を愛し、地域住民の支えあいと自主・自立性の強化を図りながら、誰もが楽しく、安全に安心して暮らせる地域づくりを進めます。

●城南地区地域づくり協議会総会

令和7年度の総会が5月21日(水)、城南支所ホールにおいて開催されました。

昨年度の総会から地域内交通も一緒に協議されており、役員の変更では会長に茂木瑞穂さんが再任で、新任は副会長の関根長之さん、会計の梅澤義夫さん、監事の須永伸治さんと木暮進さんが就任しました。

その他、地域づくり協議会と地域内交通ともに、令和6年度の事業報告と決算報告、令和7年度の事業計画案と予算案が承認されました。



●浜岡部会長が

社会教育活動功労者として表彰

2月4日(水)、文化財部会の浜岡宗一部会長が前橋市社会教育活動功労者として表彰されました。

部会長として平成28年度から開催している歴史文化講演会(計12回)や文化財めぐり(計4回)などの行事に対し、企画立案から実施まで主導的に携わってきたことなどが高く評価されたものです。



●城南地区文化祭

11月1日(土)・2日(日)に開催された城南地区文化祭において、地域づくり協議会の活動状況を紹介しました。

文化財部会では、12月7日に実施する文化財めぐりのPRや昨年度に作成した冊子「時代世紀年表」、講演会「大室古墳群・中二子古墳を探る」の資料を配布しました。

安全・安心対策部会では、フレッシー便の買物風景の様子を大きく展示しました。

地域福祉部会では、小学生絵画コンクールの入賞者の表彰式を行ったあとに、トーンチャイムの演奏会を行いました。また、入賞作品14点(低学年の部・中学年の部・高学年の部)を展示しました。

地域内交通では、全戸配布した地図付きのパンフレットを配布しました。



城南地区地域づくり協議会では、

一緒に活動する仲間を募集しています！

4つの部会があるので、お好みの活動の場をお選びください！

体験のご希望やお問い合わせは城南支所まで

お気軽にお問い合わせください ☎027-268-2111

